

婦人科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 子宮頸部粘液性腺癌における「胃型腺癌」についての調査研究 pilot study

[研究機関] 北海道大学病院婦人科

[研究責任者] 渡利 英道 （婦人科・講師）

[研究の目的] 子宮頸部腺癌における胃型腺癌の臨床病理学的特性を明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

子宮頸部腺癌の患者さんで、2000年1月1日から2009年12月31日の間に手術療法を施行したI-II期症例。

●利用するカルテ情報など

カルテ情報：年齢、経産回数、経妊回数、既往歴、家族歴、初発症状、術前血清マーカー（CA125, CEA, CA19-9 その他）、術前細胞診、組織診結果、根治手術前の円錐切除術の有無、FIGO 進行期（1988）、初回治療開始日、初回治療法（手術療法：術式、術後補助療法の有無および術後化学療法；レジメン、投与間隔、コース数、術後放射線療法；照射方法）、病理組織（組織型、腫瘍径、間質浸潤割合、脈管侵襲の有無、基靭帯浸潤の有無、分化度、リンパ節転移の有無および個数、病理学的 T 因子、胃型腺癌の有無、初回治療終了日、再発：なし（無病生存最終確認日）、あり（再発確認日）、再発部位および再発時腫瘍マーカー値、再発治療方法（手術療法：術式、化学療法；レジメン、投与間隔、コース数、放射線療法；照射方法）および治療効果、生存最終確認日、最新の転帰

また、「胃型腺癌」の診断を確定するため、組織標本を再評価します。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院婦人科 担当医師 渡利 英道
電話 011-706-5941 FAX 011-706-7711